P2.33

192

67/14 C

李見分と称することに失足。既以祖衛所の存住路同分に今任、招信这件

なことに失うなるままるとうなる対するのとなると行其のうろのもなべろ、事事なの対すのは受えまと行

会議と催するそのははいつき、本気のは減しるでははいるではというでするかけなっしょうとるなな連切けるにははすることでははなりこととははなることをはなるととないなるは気をしまるは、おのはないまるとうあるとうない、

かっる食まりかいからまれるとはなりまったと思うなはなる。類同出所によってなのできてなるときできます。こととなって至れる。

は原金をもものとのりに、あるなくをのはりからなりからみのははいいないないないは、大針と歩くはまる、はいこまるのははいいなく数の角はする、はいこまのる人数とるので、そのは、有いる。体しなは、なくなるとので、はまる、は悪くとは、はまなくならは、なっていないは、なまなくならいいいからいいいか。といるというとは様をもなり、こういるは

投房する信べるなるます、その程できるないるからのならく、およ一思、四十四日までも期限まならて、生ないは出所はざるまでする動限と所に支変せらえし。放に出所いれば、無限と所に表しては、期間とけまけ中のものい、無同と所の、難同と所、七日日はは、知問と所、七日日はは、知問と所、七日日はは、祖祖很と所の、という人。

日的生につきては属える。あり短期、朝向、るは原のははですて、結準のと所は下の初切なら収を付けるのではならななけるのに同くしる。かさりまり。とのかまります、又別でなるは、ははなのかとうなり、らは、ははなりから

Sheet 2.

学べく、又任かり変更を移成而にあまって 一种一 期间も所奏よ、話信を養くるに川かして、

リーンののない国をに同うたくかはという数回 出所者の多数は、其所に、期回的なられる仕事 され、これはの動は傷いでけんで、かない あるいいる。なる人、意想は生産でかか て実用的ないるが、動画も何をいっちの 郡大は割成ヤート、母朝成为所者は、到着 行制限行、旅退正城等以来の合衆國内の 今れに移居を白と呼らないがへないものは一般 外人同指、住心变更仁、洋面中是了人又 添行いってはの今然園校まとは何と

アリアで横の期间も所有と、北朝回去所有とる 話住の前合から人がはになる取場行けんし

公然へんかといいいははころ働くたりの

次がいがの井を十巻ない。 原中からの期回め町と奏上すい、社会の意 生きできるへいいなはいなかのあれるですし、かかく の人によっているくととはなるないなんはんにあるの 女もとなっているというはなり、ではいくはなる 元かるとはないならか、日のなくいえるなるが

Sheet 3. リーツスの無いいい、悪気でいっていいかい、かいかか、 でラスヤ、ユーゲーの一部、コロングの一部、及い

Thuch 4 おしてきないるようなとといいはなりにはいる に言うらるな政策的に、戦后たと母まてと と強をなどといっての戦にの計画もある。 ビーツはの然了、全かなかる発用とい、収入らか は、致信高で同同存在するの解するかと かられる戦后の神のこのますべいから リーンののはしたくなくいなくのは事がれるます 福に同一地をまでなし、人のソントンの事務所に 老を送りずる町らなるに至して本まと言う、治性なない そ目では化し、大きは減し、下してひかいに ち中生なびたしたしったりかいからいるないない さいて、成の書はに見して、居住おば氏の之に 苦まる交債を眠合きまるとせて、提会より 子はからいるのとなるですの

御きれていたのめをといっかのの中本のととなれない数したしの気があるではではでははとけばできたとはとととなっかでなるはををとられてまられてとなるがしてるは怪をとうないは、まるものが、はなってはなっては、まならのないは、まないの

压气。

ころでかれること同くの次合はよこ月八日午に一時まり、まず二十

Planning bommission meeting for Dec. 8, 1943, from 1:30 p.m. at Reg. Hall. 22.

, 1-

の彼くりつとして、シントに、リッかしし。及びからは様年り、ひ。石井高文をとのははってるののるなくろう人のののの、金でデック。近のかりから、光井うれた。神師のようなではれての年のでうく、書川師。太陽はくいしての同のとでは、出て者、村は、ころの園をとてままった。

つ風了でするる。前金属の深るなとば、石井の江正とか

ほうかえたり、ひことになることとろのほうはる人とう、ひことはないまとうです。 ならけばにして至べるとなるととうのよい政府を終く集をにつらて、幸をでせる、後に、後に、はいべし、五尺、引きての時にのはなについて、存るでの財産で、日間のは、はいべい、日間のでは、はいて、日間のでは、は、というでは、ましては、は、こにえく同分けには、まって、これをして、これが、これでして、ないないな、一向人便のたろい、からなるなり、ないないな、一向人ののにから、は、なるなり、なるなり、は、なるなり、ないないな、一向人ののにいい、ないないないないない。良くないは、はいない、ないないない。ほどなり、ならいほよな財を、なりは、はいいまない。ほどなり、これでは、はいないない。ほどなり、これでは、はいないに、ないないない。ほどなり、これには、はいまない。これに、はいいは、はいいは、はいないは、はいいないない。これに、はいいない。これに、はいいないないない。これには、はいいないは、はいないないない。

sheet 2.

りから、天の様女はいないなったってきたらいとしない しているはなるはべついなるとしてないような にぶらいいいなれて、人大をないしてはには行は 化をかが、活をが既に改作る妻人田にてたるかに成立 されていばませて、存代の場合に持ら行めくかい、そ の豆里五百斤までは、成首の五只用にて運送せらる。 点派が指信の場合にか、その開産へれる行からい、 因以各分を存住えまる政首を用に是らる。後 その上に、政局に要形なりと思え地にるか、事家 から財産をあるらい、至少不成在民用り、原 、はる、微型地の私向至に管何管連による網度れ もふ同いし政府ありは信えまかに送いる。女の 禁事、着事生用れに適用せられる。何代衣服、 家里の部類に属するよの、ならい、梅田、冷蔵庫、書 母、手道具は何一·成茶如了路行光(送了是) きなける、何めいのは年になれる、ななれるとかい 生に手信を受け、又結及い信用の材料:3月十十 供給する。又跟出地の百万及以私有合作連己在 る野地とお野民のからは、政体の人まれるな成成 thoughter the 結一大致在E#KEST えき 事から

ふらとなるよろのをなりるとなるととなるとうでは、まなり神食の部であるのでは、あるのではならくではは、一番の風のないとはなるというならい、お家のの、神色前的はからい、ち家の

Sheet 3 なになるいるとが大手に、手では百五十八多方所 く、收容所は在財産の筋疾と要がとの らずの衛星の要がい、なできり本にかは、大きし、之に なみないまであるが、例のから、窓とめているだー めになる場合にも、循環要は、記にながる成然を 大祭信にときなべい。被風地を自己、社会会は 室りの務定要求、旅信の前は何からからし 前に明定方は小りある、いちも反用なな、た月及 以食店用家里、多如何同性食的野意、一要於日 ~して、文にチは、小くだら、新衛の前人、か、んと 風性とと大林い、ととはされずれから リーン及の井を一回のグングでランを入るとしたのかがなり (なのから、かんななのではまれたをはいく) いとはなることになる、株型のことのなる。 ないのはないないとはないとはる Susce りいいんのようなといいまとして、新生となるの日本 いれ、その生も田に言るものないことに、は様なりつの はなれるは発生なることがいるから りがし、後の自動車に運存をと得り問徒とな ずの人とを強かとほう通り通りますっとしいいる事が のいスタチャン様にきーニットましてまートルンドライ ングリスまで、素作し周後もなり、又ついいり入はて しともなる、表行さらはの はれて、教会に財産と強しようくるななろろろ

て、女子見かけはかず、それがるかにほしれたの時 谷米もないいまないかないかられる かりとめのりがかし、まくてのまるでににいいな noto リッシアーススのないナニと、なか五様なり、おきなの いかられるで、おろういではなす中からの 所有物件とる外に取るのせんさ、方、金がる教学 には挺の上、移年と、居在公司衛に然をして日人 妻とは刺水なり、光りは、谷はは、梅に、て の切えて必要なる事と流し、でき、所属主、単社 にてえるないのかが何かはけらって、不安を感 り居ちるから、文を信何は産し人のからは失か なからしいはんいるもかなと、まましてしにひして それなみと、でしては何ははしくっての時の 使いられ、読者か回を又い支への许に残される ちゅのぞそとはい、そろいろのかかいしの

書に下。何や井を持しているかけの りがくら及っての財産が行べての汗にをおり

Sheet 4 かがあるはなかれることはあせる。 こりがられいいがないいがないのなったとが梅 り厚いると遺物をなってへにてか、立ろはのかに数え さんにいているかがみくれないことは対かいの場合にに 然体でではまにいるかかしからかいままったからり 3400

そい物東一部は、保一度に限り、保有まし、美了 まとけ中まりなる、まなしい、美しと不能をした 日の外送とする際中に中国の初のはい、日衛をる 受しまの中国はも気かした、松はも然見かいしの 如は井大くの補信してかまなの数ない、まなられては 性に、その何めと描えませる。 りかしとは、まいかとに距離は等かりゃくとは目的 地に到了大孩子、初れを手にまるから 様事様の収容所出谷とは経術によれいせるが らいいろのといい結構、猫にならと思するなけの 里以来なる、なくとへ、正確に生然動となるか る故、競技、大照度なる割で及るこれ不可性なり、出 来のはい五人のかろりなりっ 限也氏。仍住此の私有倉庫は在る物中、何人が之 まだいまできるの リッツトとめのいはみがは活はし種にりて発送の

アーンスの私然伝、帯医の仮したいむ。 り、いろしての理倫しり、改度と何せかろう、倉庫の を様でえかのため、までして実動にはして保留する

Sheet 5 学年夫人のなほなの間及れとる所に見らますい 行任者生なと同時なるか、又作してなるかの らどとこれの出発一面の作に登場し世のかいろろ 回するかい田みををだられるの

Sheet 6

用是多多

底はみのおろりませり見めい、から一支へが若下のわれる ふしかのし、が、かか届かして大田なの子にくんなったり

きまるかりのでする

リンジーうのろいるのようが見るというして、大な人の

がぶている。

候以め、確かに、ながさるまとはこれへに在りと

there

りがし、及り、天孫何と、神知にお太久中とし、私 人管室の物件を禁まして以及みの合産に移すらつ まて、後しの里民生み者が致めるないはいです、数人

のならにて発送せらるものものでん、人は保保は人、今日 角のおと猫にしてまますかのにい猫にしてととなる

がから

流日冬の思いなのないなのようなくときはいしたいまりした

しなからの で井氏の何かいひにいてたはのいろろを教しま けり、字の見いそののここ個を有るないろの自分

のもの大を発送しからい回すりかっ

リジャラスの光一の

后本氏のかいはから深から一切につかいかにの シッグラススのかれ、株は型はかし、思いかとれている

of forto

石事氏のかからまれるといいとはなからていなり

Sheet 7

割れとしてととのなったいは数の書かにして、成 い年度にこれを保存されてまれて、みゃくとからに かられていないないないないないからいと

嫌の花りのずれしの

ニュシーススのかなったはないかへ、使いがへてない

然本大への核風而によっていたりの倒軍力な ざわれい、み何主に交付するきつかの大幸すりもの

ゆい、家宝もおし、好面主には長いる際などの

らってろろはかから

ビーシ氏の他の話にかけておえたとりまするまりと

好信上人名方面のこと主は新安的投行设计委员

金田はつろかかりはいまれていいいのろも多

数とないる所でいい、これのではは、我が何の活成

るばの立旦は化えずなりのかのより、大きななもが、よ

ーイス、ころけっして、神子のなれらしまし、なれて不成

のおしい、みを歩く四きてにかい、相角のは原と

電きまるよう何かにいめはる人の考えまとろく、事後の

を三乏城に分つ、かろ主管部員、根没者都見、

美国会と指信設計委員会とが一部足となり、又

行政職员とし、それからないのろ

教を高さない、はに、こととはないしのころにはいかから

旅退者白人合同智見なり、野家、土生産者にして、

在かったので、いろいか、ます。

かるも、日下手を中と信がの

Sheet 8 本の住の本公司は留かかにたるへないかの かりとのは、発は及は、本はない、物と様及者るかかりの まりにいえることして表をととますこととかなるなない MARINES D-20人人, 符尼沒汗车是公: 吊麦加谷, 数公, 男 女基級生日子公、其为他の图体、多了日日下、历会水有 するないもの、大きなとこのはなりらしの 要べい、気かの計を生まてなにの没けに至る生ま べきか、成りまれるるなな事できればから東辺すら man & 1/20 27 Apr (4/20 金谷氏の会は、、うから、は上一・金のまに教事の住住者 の支質がいそ見とのことによくとなかの早く実行が さかんじ、金のまれが一体でない事况からでありる によっの金国へとしい、今いるのまにし、年次とが まができてきているはするではして感がの リーンなっちになめたいとはなら 石井氏の今も同るとりいままずはついしの 新四隣路位の実際の計画、新年にるまずべ まことに一致する アコレン蔵の大江の大教かんの 石井氏の日本がたり 后在民、本公人及中门、禁促中中的 石井氏の九八十八つ。 金を成のはままなでの問れについてのは具はに行める

まる人、可想成れを行いか思するかの リーンスの型りの気がしるではたべったりの 近の人のななる、年一人をからからからなるでに、年人 ないちないかのれの大田が田を日になるない、今まれ 在はそに帰るとれないちない。 りつり又の出一、作一をかとたれとれぞろ、なし 届後かかるたけらしてない。そのよるものにはなべ 承し、我をないなり又母とまにですしからがいて こ、あれらない地といまがかーもの 無期限まれて下本所さまでしまへかこす三百つの生 のキッかしと、我の作品の話をは都をせりが、その百つ は人:節で、その中のよる人に、人がんろめの問題成 あるがはからかによる、風生数のへいは、年代でる and the mone 移性変えるのがロトがはかに同かけて同さまして 届によるなアーノグに氏のあるまと、リーンの成成はかし 水、子子其十一百人等十一一百人以为一十八八日 年ま年ならてをれなるとまるとろろうのと、久分に一日 五日に同くことに失する 正公日

Short 9

Of Japanese translation of the minutes of Relocation. Planning bommission meeting for Jan. 19, 1944.

古国でしてるる地に持る天大への大百官を修りとうですと、大十、いしてので十百で言す。佐京古皇夫人の何宮フランク坂本ロートの軍なデントの京席者のお母師の宮城一の大神師の近回かとらた議会びしか及同のととまる。

三的公の議支録を強く承める。

ナハナ月回、おロテロ指位を教をして現地の強 許族に任ける、アアーではを海及が会員に強介 アアーシ氏のハローにて日本へとなるに至しが、同地に て日本へとまた水を様しないってりいるとは一名本方の四 御い日を天人の子かからくれい日本人に衛田ではし こともなりのないすべき同いのき気がにるり、その 現地に二世の男女生のまのなると、一世になったの り、そくるのほるろとなってが、同地にし世らか後の 話住しらりゆりあり、生にももく開放のないし、らつ 事事は称何に進展したかりっての百二十五里 距心るがカテロの数にい、日本人の家族にニナテかち るが、以らるい既住十二十十十十十年、また、在住せりの 歌争は大き機里に、教御をから、西海等人来 るへとに同常し人興味を有多いそろなりとないかし て今花はまで及けるようの同地の状態のまなな文は 的なが、多かまれてはとないとすってなり、様 き思かい本島の生なと是してある。彼至さい本面の宝

Shut 2 後に通い、本面の宗庭に帰し、今然國民の生生を是 りるまが、それそれであっての本体の生ならろ、思 いなにからい厚らかっめの両親が五十五歳万至六 ナ感ものろうな後が町からあず、思いまるは動き の国和い、金は思いる所はる、見から妻属が生は、 となっしかろるときがはい、影信も不同人思しる かし。全然のなのようといい、西山産を記れい路で ほど、未国人の日至人は替する感情にはすける。 題地支務信とう旅行中、全をもびスナナアイグか とと、町内にはが一軒の日本人の家族と活めー が、彼るい実におらるまはして、る事高きよめで まる成立人は言るれたして、他に同的の方とは、 いとにいろかからなり 該は明日尾とはるとり、(西海岸)の意味)住思え

成かっそ不可はならん。 飯に今日は後待、奏法して

りして、ボートランドへをしとる、生をいめ使用

されたろくのろれる、はまい、まとれかしのこのきととか

中に在ろれ、放客所による、深なりの状態を代のため、

故谷弘に留るころ出る、明明了年本中の生在を展

るからからかのまないまは、それたは生かれるなら

今用と枚をかいか、子できまるの食をよりで

ままとなり、不自然の状態の下に及る核やしめい。

子女の生に天才るものですがろい、彼はまい白人

及いるみなかの稀に、ぬるりかつのかかまりる

坂水以の本本の書を至しいりのまに手との同に、行か 相愛のきとといるなるないなるかの プラで改のハワーの日至まの年と、不同の日至まの五 かの同じが書きるとあるからないなかがののだろうのは海 にいかいまるましいはないらなるなるななと用るがの いいくのまの一年のまのまのまりり切得会をかりし が、今日本土の書と平も京横合に属して。及に日至の 「トーヤチのへと回信に変換に然命だろっ 京在母夫人。恐地事教とになりまる方は多人の たったかい、教的ともはしたらへ、そうはなからの状態 が強却の如くならかる場合はも残れいたりれてかっ やすの一国が難符合ははかりしに、そのはをはし かかりまりてろ、そろめせる強にほに称って、致 でなったいいかんといかいる。 、アーシスのその関地支養に自己な里に今の一般国 きの作らて、するならはいかのかいころははんろは 学作品、新一天祭だと福州中部(はは、及るこ) 強なった、痒しくれなられのないなからい。 時と仕支の中心い、直接に収をひに来く、現地の

我のくらがそとは何いる眼はさきまちののろは食べ

リーンクス。発展をあ、おり日本語らか、ノレーンタスのか

は、なるななるでは、大変はのに及ばずの

に大水が、年本の生出に信益をよっについてい、一局の要かいかと、

と一一番田園から

をスプライドの回常の愛ないと、れのアはにないる 草成のはまべてきの説職らつきるはななると 照のないようとかけん、この後のはまでは、あたかり以 まれたからいのと、気のれてはころうはいるないのかな

気を見たつしないまないいにはなるとい、そろは人は の文のからます

でしる風の教的、能動、は教なるのかないととにな る一次はに足かず、対的、切るは情に生きしもの にて、傭主が好情を向するりと發行するるとの

金では、ひから会議は関して記まるとしの

金を成の在人と作の、ひからの最のころはは大が ために、天、代ま水本のでののかり

合見の思るい、そ代表をき通じて、公理がのまるま (からいはにしている)を必らいいのにない、れるな き所に何らりずめ、大麦をと愛信者に通生から て、公孫のとに執り天産をなり厚い。五人の見る ありまし回的い、路思い一人の代表をと遠いるに替く するかっな一体在なるかかる我感受になって大学を 一の同でし、おかり同しかいともの、例のまで の活品の一番や一大の一大の大変なるのほかまるけん なり場合はその人の意大は如何の飲ますとうなります」 の重要同仍以以表者を浸入し何人も具在在之時は ハ、その代表をの後まらないこかではたはあにそうる

には何ると、つきまるのか加きとから、大学した。 なせるのかいなったったったい はななりかはにつせてい、正便着のそりえるでしたかり 会展がるによりものない板、数つるの意へはないい りそろうでしょう、そのなべる用人ととは禁じる しとなるるのものるなりのではは私はいめられるとくできて 高いたとからない、ちに対けるとである。人はないかが いい、それ大きくしているかなる。 又他の意見にてい、この方は以後受察了是 つかの状を見れてたい人がのすっというかなん。その そう然情味のかなが、ないろうなにといる人をはします! 機道者向并は、代表、機過者のみに替りまとり ようかいににいるなが体がしとこれとし、そのまえなる の経済するはるては至るとるなまなり方はとは するべくのではこのよりことのよりではない せるれてはいなりときるとか、近代表者にきるでう きの大きるのののとは受えるい、一向してに行けるつ。 坂本氏の今つの中とけてきるなり、代表ないのは、 (生産にまんじ、所のの足はて存住者となりし、公 衆のかるか所を一をうるるなえしとのことに一致する

Sheet 5

(まるからのとうなるとうしてしの

ない同に関してい、行いまえをしまなりたりとおろべく

大いいいはるのいと、五里のまる後もなるとし、でい

確しは対り、まで一回に関うい、海家高多、海谷とぶ

信息ならでの今と信えるならてはほよりの見ばまるとうなるできて、なはい同う他の使とまる。日ははして、ないかりとしなってとなる。となるとはをきて来なし、二週るならなるののとがなり、入ってんと、ピオリアをのうな

南もに遊後足をから同するな表情報の体を、のの所は自己はなに同るするときに、準備の任に着し、いテデーにめいるとしているるといるるでしるとではなるし、いそぞくは、高の音でするをでは、ないはないは、ないしてののしま、ひそくなら、強災足の到まによくし、るははなけばなけるない、さいるははない、をははないない。

得生、華有紹任中勢では我に見て了としてしてしてして、してでしては、アートンとをのらし、はりといしては、たい、エス、アイスター的を気として、ひか、一局の工ででするまでゆう同にて、変強でく、アルブシドをのへ、なは破残を見のとうが同の期間、二月七日、一緒を近れます。

どりといいなは遊客民業務につきての民必の強ないもろかからないもろうならるとないなるとないなり、季気のは人名をないなり、いいしょないないないないないない。そうろはないころのようなない。そうろのない、中で

いりたのちてなるでするとうとうこととといいてはないとうということはは、次元の一次の言のでしまる。 後くの本本をに対するとはないないとうでうしょうできない。なっていまするというできないます。そはなるない。またいからはののはとればないまれた。そは

Sheet 6

るれの、解析の支衣に切れるとはなっ 次に、は一一大きるかのとして一日の文であるなります。今日 足がない一通いは多きる、そのかかい一世のなかの 存落に伝えれている、人作は至すれるよう、の母 に何して原在かららしかいいからから

以れる。その年は中生生生生なれてまるためのとうる。 后本女のレメーランスとからいよう、中を学生もとに用る

一つを放かれている。

石井氏がなべなるの数まろとなりつ 石井氏のなるできたとのはのけらてや教生とゆきはいたろんの となるこれのこのよのはにるからてまる人は ましっていたながらなる十月のはは間中かり、幸 門を中田出門解的の後人会所省の代明が ななのかの母さっているなにい、あまれることへの ではいるならない、アーンスの母れにとうとおぼせ いす、はられるなるかとはいる人のとはいるといるでんと。 派をあいすせいったろ、王作のるいんのかしる。 家はくいるではは大きくのにてい木はくちに の供も根をとるのはには、以事はいるまえるのに理的

のないられる、無様のかるのの合き様くいれた。 能に遊院及と中生ときの見と概要する。 アーンスはあんよりなというとお井氏のといる。

Shut 7 にいて、いけくの人:いけのめの試がもをして、あなった 长河人。

a Japanese translation of the minutes of Redocution Planning Commission meeting for Feb. 7, 1944, from 2:00 P.M. at Relocation Library.

4 P

ケー、作人同帰っとうでで、ゲー、ジーンかって、大くのトランではでっていからでくっているの限のリー、ゲー校木のローエー、かま川路のゲューリスにもあった一東田林 師の、ゲースときでまる。ゲー東田林 師の ナーリンをはなって、東京井のエング、ビー、ハーンドン大人のよる原のよとの日本で、まままれたへのからからりの、フロレンスを一様の、からは、まれまれたへのからからりの。フロレンスを一様

人にず行正。十八五と記者をと、そい三十二五の土」衛やと、茶井夫益没足が入が一才に記師会見を食りい、表中にいる存住盗役员る私所同中の時间創表を含足に配布。前分議の漢事無と済及て承記。

きてくれてのアードラントでのハロルド・ファストア氏とかるハードもと

同的と心中に悔ることる以に大いしる人はしの感神の意とますしてのの工でしたといったろれきますできるとまして、方のはさしてはいとってよんしこと、五に、行同の準備の中でちに詳してるかに同りよれははアノステート人のまでははいいになったなける

こと、あれるはなの要いるののとなり、そに、気にたなるなり、とらららにはなるなり、もろならけのり申まとってい、ままはらは、ままはないなりなられるない。

事が分したる。助中し上げたきをはて、そろ紹位に同する所同引きますてきをくえれまい個人及い家族面つれると様

まるでないないできて、なるとはかりせのとうのでは、なるとでなっては、なるないないないであるとう、又高かわの方ちのでは、なくのは今に教なりる方のを使して、ひょうのはないないはないはるかららい、同下出るに、同下はには回中ので、ないはないはるか

八日の法をはは、それり、まるり、歌色となっ、ない、松、、公の及者中の一人が、司合者りるを通例とし、ひていしはまえたのなら、はののならははなった人が、これのから、なるのでは、なるのでは、なるちょう、たろかい、そのから、からは、なるならい、なるから、しょうから、

ではるはからかってはなりののはないとうのではないなる。それではなるののは大りのとれないがまるならい、あてはないならできない、なるになる。今までは、我はらまるとい、同またになる。今まあるは、またらまららないとなって、今及のとて、しばましては、ないるのです。今まなるは、そとのないなった、まとのまでし、そとのは、たまりではない、そとのまで、はないのは、ままくの映画、、そいかがかの牧徒でのまえ、かいいかって、いいらく、えかしか一切が出る

がみとで、るかとくかいがそりがなかいの、そこよくや すのなにせんして、その状態ないるのくとのことにも お源をし、人なートリンならいからのか、民外 実倒へに全めずしくまかい、テインーがナンスターと とされて大きて医なれる 因於、過餐存在日日、一个日本風人的一般人 地にきていてなかったこへのあいい、生きがなり様のあ しのは今のなくのなくのは人は住人をして、わるなのな 开研せにかいくし、生、西学のこの本人の、ないないなる 旗公里中中食花子。最小你不得你 「はははらろこの間できたるが、実めまるならんと見は るなかのまったしの人生べい、南部に母いまとる し、又からともはないるるとのなるながなってもとれなり。 宗都及公南部に招任したる人と、放事に生人 らる銀作に数量きをなけるソート、ソーキ区域に路 作りいる集局は、大衆所りに住ちょうてはみ、人ろう る数、市の下層を成めにして、西部に下路をあ 着一年からまるまでいますの中国過れ 等、禁い留をいるへか属のトンを上げた しにもないが、路思い路後、発展を、経過を 能作いとないる一年まれるないかいられる 数の、は、行産の国産、これなりと、ひか、してなって 見くし、ソートノーキのトン、一種単行のとないのな

るなることなるにい、金の松りくそによってきないの気

Sheet 4.

さ得らいっとのべいくととなり、今へい状を知る会にいいいいろうころの二世女子とばかしば、まして印成

持なるとまて、行信の、同別も了なせくとり考なるの既任らくとでびいせりは、公衆、日命へを担ばないとびが、十人とせる方になせるが、旅風のこと至にら不くえて、今まという意へ、禁する能度、至り、五人、書きてくくうまな、「はままれるらく、人まとして、大きとし、まくは新するなる。及信のはからもぶろほろし。

到の人をのなるないとしてる事でいる。 強の人をのなるなるといろをできる。 我が何くなになるなるなるとなるないなり、大路 ないはなるなったいとなるとなるかけまった。 ないはならなっなっなってまるとれるとしているが、活ないないないですのはなるとなるとしまる。 はなくとなっているないとはまることと、はまるのからいのはいるとなるが、まい、できるは、まい、はない、はない、はまるのか。

東京なのまけて指写せるものと、西部のものと思いまがありまたが行ったるといいの映画い来自の此の部からとは見られるいまける。まならは、まいて、ことが、そののは、まいし、そののは、まなが、何へいまな、まないまなら、自かに高いまし、まからだめはまいなり。日まくのは、気飲いまなら、自かに高いまし、まからだめにまたらかまでいく。

えるとほのくとことできます。 あの一様に行みはくし、のまりおみをして、みのかのへいがくでなっているとうない。ひまらはいってからかいいしかまるのからなな

Sheet 5.

れー足のでなりまるため、他々もの男なようととのろうかりまたが、他々もの男なんろうととのできたまならまけるとははなかしに、そうなってみいくろういろからしてまれるといいるが、行はしく、又行一人のひからしてまれまれ成長すり、数後、結び

る不到とそ来的と愛いしくとにするでするできたとうでするできたとなるなるなるでは、なり、路君に、本国へなり子でなり、存かし、者がし、る数の一世もられてものとなり、なみのかりとねして来国へと見られれるかのかがははなるこかの一、なみのかがにはきゃのに

金を見。レースキーレ風、おかなのノニーンとがはいい

Theek 7.

でくまりまではは、なれるの アイスチート及のま一日一日の棚をはられてナシへもく、全 ならなく物にるる。一年にしまりまな面のというへ、日内 ては底、人の一本海は金ははます、あめのめろろし 世色ないは国海を用るろが少人種ろう は原もないて、顔文を全えとするれれらとのまれ ない。何とないまるあるととというかいましましたいろう に合格なになれて、日内の氏やかしの七年一点の数 同に会会することなれる以生の一世の一世の一世の一本のでなったのでに なるものなった、特にその人同島氏に、正然之之後なる たらい、金をあいる田はる、窓内なり、ー・ユールの三 因之民也住事就任何国际人不少。图则又:张凡光出几 、チャードンシドス域にないれ、ころもし、みつけにに Antono: \$ Texas (who es you with the to the wife of a は西部又いまかのへいと全く里ないろと、茶点 あれたいかいはははいいるますべいという!

小は東京、家心地と母、夏师石できるとなり。見してなり、強なり。東子教と受け作者とし、正さいは事人、傷俗が新聞以外のかりにい、同至人と自同、そろ子を事に在はかける感じとでしたしが、なきなるならからかるまなり なっましょうかのなるをあるかってし、はまるなっているなるならい。エーブはまるなって、ようななりない。カリが、ないるなったとうない。

ながかける 発展でせるの人の(いかの)大学が大十人のあのなな 以を変がたとき、花川南かけらぞく然して、愛か、。 人もなっかのみから、なりかかないなんだれてが、治 のるは、その一年のへがある一年へと回答に例をに 行い一年、からあくこがだい、まなかいにはなる」が (だぶしにたいます」かいななここの一年にかに以外し、 しれたべ、格一をかしはらい、なったしたしらしとくろっ 、そし様へい、いろ一世が大国という・一度なるなに活 しことない回び来が治しはなることとなる て数型としかりのると吹きて、、くってきはいるかから 来のおよれるできまして、他の係人もそとに はいてなもちての、ルルあくくだ、兄Hあいめか一年、 あるなくはいいのといいないとなっているようのというかい 後のまにう解すら、何の園記もなりはは

中西部及以系部に住き天人の一限の禁度に甚らてたら一次の一段の決度に苦いてにきてもなりことと見出せりとめる若者至のはご度は、てきなっかに数さしば、彼るないよりと他のものとの同に大切ならものなりの夏朝に高して、エリが供生ををなるからまれているうないようる。

Shut 8.

Sheet 9. 海いるか里への面のかしと、掛地もるに指えると良 exolater 2 to 20 (For to, 12 WW TA F TA - Enjaro) しったりまと見るところのととは、はらかの られ、行は、本まれて、ちなく、たらく、たらが、そ い面ときないのなくいの人とあくなるので Toux, on (Tit = The On the one on (Ford Utis and tong ほに二世かるが、富まのは、新に来くことれるか、まるな いるながいいかと来るいとをに言いていい あるとのは思いないから 寒等的でまいるというは、高世に至してのかは受けり、年 「世部にてませく、南部に伝わるので、南土のまたいから める、回の牧養をでしょるがら、これから 生を存在、南部は、ないなのでのの理想地は、 からまっかいの ないできていい、一番からいるなくっためくとかくと たって、人は、里くかれ、ちゃののころのならい。 田川されてなるへかかしている。 金な及のからずいまに困けるとしてよいるなく更なる ないかなる、発通をきょし、いから、学が、メソンクでし 推行さるのとの一個になったるものとなってなる「井谷 はかばしいいかるの 作品因及。數年於原品因的是、為何存行者以口分

単記ないい、人妻が翌下の同的かりとなるが、

Sheet 10

花河をトナルへかもの

レイスケート氏のその中のないた眠に存せるが、地かり一日まる 」手い他の天人回は、塩く、アモリを教を足まえときると と目が考したしる数中部にはまべてなららい、既 開がは、成功にまて、微等行為、北方数兵后以 ならて、下はらいないないないでのよるでもなる & Leo

以田氏。ラユーバーはま、在任老の九割り、湯でのり花 子に達せずの日をとべれると大戦ーと今はめてて い、こ、一部に一個な好かないのかのでいればいい」があ

絶ない作るだしかべしのもうこの

らは、一切は、送り、ななないの、なまなのなの映画 だし一個な子子のおようなといいいとはずらにはし、山しくの 失れるはいかまられたが、カラは氏のかでかい。其 which the

かりしてめ、これのはいけるによきなのことなりいい そされを変えてから、風かれてる

下(50

Olanning bonninsoion meeting for Feb. 23, 1944. 海ででしての民人をらして、后井氏分と同る。 雨兮溝の海事祭配布、各足法又外と承况。 出活者。福山動の成立ついから同なりころで大は 席の花の店の本に属のた井ををかりくつか、ドマトレンの H-21、アー・レレーンデアの食れないアングの 福山部体を動源よりの原門路と路及ける通り 同分、大田宮とも一层の時を起えかららし、茶 しまればるめに田祭もろくかるからにい、数ははる を延らか人、之と次国に持数をこととっとっ になれたをなり、動意成成之。 アコトツ海のはなへが存むおに対してなるなられていますが い、松何のものいか。母期限出所者がませんだ(原息 し見ないともには、よりへなとならいないないかのかろ 歌馬中安門中 石井氏い、ひーン欠が正白の金金を食るとうこと を変明するとのならい、その存に者に近めと生い (、気持に一歩となれ、なら計画をは臓を)を foro いるとは様の存になる人に難かの人はいまでながしまる。 年からいいまくれるかの 石井及のいかでは、株屋のみらり、存住者の話でも 多いとかいここかの 好仍然没是来的母は海でより。 石井氏後のトロノ、遊波をとうならいままな

京することできるこれへろのはめる的からの以のなならになるとうなるならほきはく行はかるあるといいろのははなるなく、いしことはは国が正りかららいなか

め、かりとの天:生でなるないになってから との合於作年と便に、心動物的原体を必然吸 紙をかられいいいいはい 手川師のお井は、谷家族に書かんでしかいか、気の は、ちゃに屁から、一番ない、これがあれてす。 で井氏。限、年みれての言は然同してて様が、かに 红·旅的等一回读《故籍初》在日本八、十月 万至十五里を大はいいりの 金なめる。そいろの没なられるおりはは、ストスな 十と作みも、なみと成か區としくをなられて、なみ 开始我的冬年深点的知识几乎一个。呼为超级人 とがナン、西北を用がるでした 石井氏の今に付きる事となるが、はしらして又氏 こうやいなでは あまり。 压你。

a Japanese translation of the minutes of Relocation Planning leommission meeting for march 15, 1944.

デック。ハリー・アーツ、海子子の変人。作古のでしょくの石井を変をする事川中の金分は存まる。ほりてころって中を変をする事川中の金分出産者。ほりてころう、福山岬は野山田ハナの横井路事議及石井内同のとととす。

ま、実に傾すく又を全となすの所かり。
夏人の今回新年最合廣長藤井氏と、そに然近中夏人、同氏:行降と中年最会と尾相次の原と汁倉、好に事務をはしり以及るその安とするなではない、好に事務をはし、そをはたいこの兩国体の国体の国体を見なるなるとこと、必須のことでして、今日までは撤退者がの後男とま、はほ及計客及分の対はは成けるないのでの、なりがのは、なり前の高くまり、好にははるない、なら、なりがなき、まないのは、まない、なり、なら、まない、まな、まない。

法君が、本くも害任と里とれてよる知の、本がろしてきてなる。人はに反すると公の別をらられるりの用き、致かいしが、他の中してけいてい、なるのでは、ならな中上げたし、はならくなた様ではい、海はよるにはに及けをとのはた

Sheet 2.

ひべり、失れは見。ないならか田らりまえで初勤えが確信す。会になるを産者在實です代表をなられるをなるなるととなるとなる、事でまなけるなるならなるとなるとなる、多大なり仕事に任えるない、まななら、ちはなりないない、なけるは、ないなってなって、まらは、ないなってなって、まらて重めなに面し、ないなったなる。此の置大ならなるとえば、我是有別体にあって、ないなどを重やなる未来は、我は事をなられてい、本所を住者の名がは、大局まは、

、大常子が、免にあるのなと 額まると意えるとなるとなるとなるとなるとなるなるない、実際は海女一人、実行委员ととけとする四十年を反のの資金は、実行委ををははない、実行委をとなる後に、実行を見らせるのでなる。 女を見ばるとなる。 大きらとなる。 ならはない、そらし、ならはない、まない、まない、まない、まない、まない、ままない、ままれいのは、ならは、なまない、ままれのは、ならは、ない、ならは、なまない、ならは、なまない、ならは、ならば、なまない。 て井氏のく、

sheet 3.

りってき城をが扱いせんでうったとう、記者におびいまるないまってき城りまっない一足域のよってはないまって、

中中間茶金男子と前面を大きの事をといるとととなっていくとといくとといくとととなるのとととなるのと

又席らか、候師を推薦を知いれるからからまべきたの、底辺及大:本の内川席十月、それいちの大はなられてまる、それになるなり、それにはなるといいとをなるまる。

で井氏い、本本を民気計を見られ、内裏地の代とる人のと同くことに戻する。日かす三月ニナニのに、ニナニをの三のイーと本会、大抵書を見らける。なり、な根本事を見らけ届みを教し、次週の水脈ものとかる(下さるかの

養後子ハリー氏を紹介。不其氏、本委员会新孝民らて、出奏地会代

压处。

次分は、三月ニナんのに苦かけて風かるの

a Japanese translation of the minutes for the meeting of Relocation Planning learning Learning Learning Learning

. . 1.

やは生く好任図言ないたとのなる及び、大百四十四年七月十三日子はお住政计委員会を添いるなる一十四年七月十三日子は

ひの中村まるで、第一の種子ハリーの荒井ヨ水の中田島の東の東の京のはなった古田がしらて、起し、デー、ビー演長金ではあるははの、ま門は、

たるぬが、ビータンの、最近向三ヶ月の移住に同して、すべき者をするれなけば、招信の模様を見りいいななら、 四ヶ月る会議をかりしな、今日付還に付付在本後をする。

中の第一のまとはちから又化り強後中に、成人を致去りて、ことを愛することがのなり程主答をはなるないらと言明をもられるないなるのはるありたるありたるなりはるないない、私さ、行為いく致られい、我は、我はいるならのの会処、なら手はる一個りに過ぎない、その時来の事ねをは深まとする。そになって、我はなって同る。人に用るした、今后在者の人都であって、女子で用るし、一個しては、今時えでもの大部分、之に用るした、今后在者の人都でして、女子のころとに感かしく。教み若って、文を正長の後的ととはない、私所のの全方は若と公見して、我はいいは、我にお話して、我们のの生存は若と公見して、我

る高書又い家事の件が解決に成してきとかり たりいものましてくの見る民を致い、散成地 るの御午はが変えずるでうい、からいるるはあった ちとうちいってんとする、れいる数かくらかなには 傷を行いるる見て候はしくたずの 又伏りの安成ないことがはしなべい、文を許しし て、かのは、かくにありはるかりなさくとろん、母 体に故信まるてきると思するもかなるに、かろう に何の記録も文本なる人あるそれれのせり、人、今日 後からなるなるとうなるといいいいいからから 人ろも発見もしの様しる、話はによくいて、砂ねる 要るできるまないまるともめでなるのをほ 者中の一部のの見の様のとはないしい、なまると して生み同的とは魔ヤーンのなのもかかりかん 会見とはへかりしくいとないい風谷となすのことにい 至りたがなり、ころろののゆるかおろへろに降からら ぶめつきとかめのかめにへきがよる同い、は会会に即め 上にもおってきななりのない相当にきずてまれかいる ずら前の湯でま、古人のでいのなりのはらもありて持らり 視なるなったべい、思いののへいないには人気まな りならぶその耳にする人をぬけるは、物はい句 からによるものして、母人の生とない、海との指面のなる に強くべい、多い行ののへといれるのくのことをなっし からして住るが、単小な人が野天地に住ること

Sheet 3. なからくちなるまるないとが見られるので、まちにからの人と そろれのあまに通像やしまいるべからからが、日文 れぬめへいなってかいは生地に茶事というなる いないなっかのは下るくかないまべいにあなれば め、近隣の人にも又る他兄ろへにも、ちり、猫気 とはいれまとははいまるの事なりの 金を成の在人は、一般在住者の本とはいなくして、行るる 下锅はぎる指, 帮信沒什要是会·布政洋源的 でるかんりつ 作るの人。本政体験です下に、薬をとかの気がとか いかかって衛の本のの大学の見る五人のからかし、 るないないないないまなまるものである。まないることできる のふめないいいとうなの年したになる様態を持つて るとい、辞演ないる相と異なるとそ、大局は 屋至にありり文化指住沒計学是会はまたぬのも ののはは、洋源のにあるこの語とかいまする 智田でしるまれなるないとなっていなという。 ないいなんの人のよくとないるのは、これのは、日かのは water to thousand in to take the with するもののは、人なみ、多い一個のと大きないのはない。 之を孫家での一か強しなすととはりりくとなから

又本会の完を考在を必い移とし、良和里とは

なるかはなるものでなっておはる際は、

海豚のうなの一部をは、それ全力をほかりと

shuch 4. む、居住者、経会を病かから良しの初者とは昨年 大のニナンの以、スグラフォード氏によて選ばいまのな る、その歯は、気をはなるなるなるのなるのなる のなる、市政年限のいまかりかのないまれらる しかりの倫からとう、なは計画い、汗傷での助と 帰すとは性にきて、そのはうの視を傾かするか ろかの五点がなでるなるますしてはははなりし一の 節の、公ろが会のまなし又ななとばすると思る とは国とものと、本金がること理なるしい、外の 既のいながんともでしてつ リーンス。マリンコをやころを成体展のとしてのま いる様のよっとと同分にきなる、大きななたれいか。同 会後星のあば、全日は行る以内の及本に関す、出意 厚めできたが、人のからの教教の様なとは りき、然に委員なりり、同会は夢り、公式の職 いなかりコート、といるないか、木をこのでして、大多な まりなると気なさけり、のうならんらとうほ 因かられるないないい、多くないいない 深温でいしまるという。 女に女でい 我仍了只因了、国际保持不可以了一般的成分 き品は前り、それやものは代ろうへ、切にのも のらめの全事をらい、本委員会を新りかく扱いれ と失きるかんろが、同時に全体を改造するに会る に関するはみ故、本えい、ろうして、からは原公 Sheet 5.

の、年蔵でよる確えと、明しさまに金に出ますとろの、年蔵でたけはでなけるないと、明らさましまられて、本書をては信といいなられるなりまると、人とはないとなるとうならはなくと、人とはならなるとなるとうないと、直しませ。近かるははくとう、人或家族にい出かを宜しまる。近かるははのけ面とまれまるながのい出れるでして、本会のははしましてははなける一向別から、かってはないなってはなくなって、ならればなくなって、ならればなくなって、ならまならないなくに致して、ならなってならなったないなった。そのではなった。ことのはなるないなったなった。

経改さまがしる。体がの氏の体に交換の同的です。人

段後に対する数異ないのいかにます。我は日別も不使の別も不使の別の間は文と深まな要まり。なけるの別のは文と深まな要まり。ひしことは、年曜なら、凡との同別に同信よりも改、

るくるころかいからのとははなる下にはでくてるながっているというできまするとうなるなるとはなるではなっているできょうできまするというはいいいいかい

季らかの確は、マリル、その数すののはるできたとうなり、大日のなり、大日の夢足をはなするととなり、村田の夢足をは命するととう、村頃はしているかった。

Sheet 6. る場する財任い事要ななの事務故、家国與けても できられて 国本とませる 金公氏。特征沒計委員会が正人年限分中に 思いるはい、そのなる中に来るそのはいけい しては、ならかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかっかった カーンタ及の執いを何一の 食なはの正素を中り全事えとしたせんとはな いるこれはなるのからかれかいのい 供する氏の本学ののと解放して、それは近するこ そり、禁事を全と必属するとは原公に限 ある歌風をましいかでの田本はくらの思めかいに ても様したからかりと、そのおはまりなは及 江海を食いるとかるるかの「は来の以ばしとり るかのものをからかかい、大の同気を展れて上 に然み、放生ととなるかでとして、 金石及。本本の人の、別代は持つべるか、又幹谷 るがようなのかの かりるめの本法と見いとはなる事と果せした、新し かもので、大きかののからではなかしのものにいれている。 許様ながかなるなるなるなるまることに、毎年月代 ころるかが、大に同り花をのででは、下中し ましてきらしの特値計画をるとのの確談につき て、年にはまるででのはあまりの 強手及。現在の組織の下はてい、汗源ないるの

Shut 7. る年一年を見るないのでからからからは一人は 住者代表不了深暖是造に五季是个了。 任け回来るにつきてり、他の方は、それなり。 家は。本会論教がは一つ年の意見い語手氏の もと同じ。深臟会を災に、原性者の禁留更 11 Haal Fore 金谷氏。管医委员会、、附外汗源なりの気源に 作と、主な見るるとりり投生さるはくしの人を見いるの 居住者と必要の主地では在り、年曜ちょ正ちょう 存向かろいった、ないいのはまれたるでの リーンスのなるの解をまって、なめい気をにみのる 法が進めるとは、する 作るの火の光がくと解放してきる気が一向に汗 はながえにあるかり依相としる いしり、まり、季めるとなるする、おらるかの 管とは原介に限れてころかのかっ 你有回回今本分子之至大李月夜門以門了 害なは、汗にはないかまかにまれに見られるへとな 長さいとかれたってからまる際はのなるとか田 townsmoth So that 3 thouge the it van the vit sigs, 全りるとの様夫に定任がれしるまっへとは同かと有 かかい、なっくいたなななかかの。 京はの本のはくりにくり指数らずっかっ

金では、なら外の下は、治では又は、かかなんだしの 如此 数是 金谷氏の解源:福地一級子面のサーの文本と で大分の解放からしひ氏に通まった!しっ リーン氏の以着田役官者の田い、実際が行任 いかないの思ないかか 作古田氏のそれい、田谷でをの生にははなるえると ななしいわら どりまして、家族全体主に若干の未成女子

+Mongr 解数一、動物ののなると海豚のこ 依然だとの動意味と思せる。 中村氏。食事傷に於るする。

ほれてよるべしの ではの現物を計画を見合い、それでは十八年七月

展をするよう、必大を受かたの いしい、氏の核は茶の便が事物に、そろれからの

中はは、主災者が移行えりきるためる気服る に変え、できるないまれていいないいかのとはいっ る人数が主要とのにおいわる対しまって、このには のもにはるしのがあればくしないを生しないたり、 食物の発展ととははいないがのほし大きかの 人は被害に軍者を行って、信事之事の因へあるか

Short 8. Fite BRO FOR HANG : OF TO ENER (JU. KAR 要をないいる故、乾燥とや投生にさるかの

会園、午に三年これがある。 作すべて変でしたしと存する 香をはる者は自我をの料料を見ら、之を教に四十八十一の小神子、同かなく日本はらずでははする。 ほまときの報道に掛ける。 まとかいする、変なが生えいればいくまかるの数でとなるという。教をしいであるにあるます。

三二下力戰時轉住所居住民諸君

居住民評議會を確立するにあるのであります。我々は本憲章を承認する事に轉住所居住民の協和と一致とを確保し、且つ一般福利の増進を圖るために、討議を遂げて作成したものであります。本憲章の主要目的は、我等ミニドカ 出自治憲章は、我々各区代表者並に組織委員等が、協巡戮力、徹底的研究と 念と確信とを以て我々は今兹に、本憲草承認の可否を、諸君の投票に問けん依つて、真正なる、我等の代議機關を持ち得る事となるのであります。此信 とするものであります。

憲章承認其否投票は、来る十二月二十八日を期して施行せらることに決定 事を要望する次第であります。 されて居ります。當日は諸君が進んで投票權を行使し、 替否を表明せられん

一九四三年十一月十七日

	牙	用来	学	学	序	第	常	夢	序	第	原	澤	。個	
	牙一四區	三	=	0	1	七	六	五	120	三	=	-	-	
	區	區	區		區	區	區	區	區	區	即	區	號	
			to produce the second of the second s		1								姓	
	村本幾太郎	田下	藤富器	勝山今十	細川節	裏川系	岐部	日野頼之	近田伊	半颗点	演本美	舟久保改	×Z	圖
	心郎第三	健第三	水沿第二	デー第二	川節吾第二六	英美 第二	誠第二二	第一	八第一	多第一	下義美第一	政明第一	乙區	代
	一回	一回回	九三	八區		园园	宣	亘	九區	七區	六區	五匝	號	
				arrive speciment of the desire adjustment of the	けで								姓	表
組	澄田次郎	山田王一	倉岡慶	康兼壽	窪田藤太郎	大澤	原亀之進	菅原修治	金谷敏次	大田木	木村久	磯村勝美	7	1
黻	郎		音		郎	茂	進	沼		炭	八	美	11	有
李		第四四	第四一	第四	四	=	第三	第三七	第三	第三	第三	第三	四	
見			區	區	回回	九量	温	で區	六區	五三	四回	三	號	石
		土居										7	姓	
		居民三次郎	高橋武夫	早津ジョン	徳田フロイド	声木龍男	佐野福男	秋山建治	藤井義人	湛	州原 忠	中山克己	省	

等等等等等等等等等

湯秋

具 金藤

次人郎个

X

意義ナルモノタラシメンカタメ統一的社會》建設スル目的プ以テ我々ミニドカ序ヲ維持シ凡工ル事件及に事務ヲ有效適切ニ處理シ且我々ノ所為及に活動ヲ有 戦時轉住所居住民ハ所長ノ告示二基六茲二自治憲章ラ制定確立ス 諸元則ヲ保持シ一般福利ノ增進ヲ圖リ仮和静謐ヲ確保スルト共二所内ノ安寧秩 亞米利加合衆國ノ憲法ラ支持擁護シ國家ノ諸政策ニ效果的ニ貢献シ民主々義的

第一條 居住民評議會ハミニドカ戦時轉住所居住民ニ依テ選擧セラレタル評議員 ヲ以テ組織ス

二章

第一條 居住民評議會八其權限デ以テたノ諸事項デ行フ

- 評議會ノ秩序及と規律二間スル規則ラ定ム
- 所長二提出スへき決議又八建議ラ採擇シ且其決議又八建議二属シテ所長 ト交渉ラ行フ
- 評議會、權能及と職責遂行上必要ナル各種委員會可設定ス
- 各種委員會ノ職務及と手續二關スル語規則ラ制定公布ス
- 停委員會ハ評議會若シクハ所長又ハ右面者ノ承認ヲ得テ委任セラレタ 選琴有資格看中ョリ任命セラレタル委員ヲ以テ調停委員會ヲ粗微ス調 ル居住民間ノ争議ラ調停解決ス

三章

名ノ委員ヲ以ラ組織ス 司法委員會八評議會二依テ任命セラレ目以所長二依テ認可セラレタル五

- 司法委員會ハ其的吉又八忠告的資格ヲ以テセノ諸事項ラ行了

- が長二依テ委任セラレタル特殊ノ安軍秩序二關スル事件ノ馬分二關シ安軍秩序ヲ維持スルニ必要通切ナル方策ニ關シテ評議會ニ建議ラ行フ司法委員會ノ秩序トチ續二關スル規則ヲ定ム テ所長二動告又八建議ラテフ

自治組織一層人心規程

第 _ 章 居 住民評

七任

居住民評議會八所内一般居住民中ヨリ選舉セラレタル評議員七名ラ以テ

評議員八其任期ョ六箇月ーシ本規程ノ定ムル属二從テ凌任者が選挙セラ レ就任スルマテ在任ス

許議員八正第二登録セラレタル選舉有資格者ニシテ年齡二十一歲若シク ハニナー歳以上ノ者タルヘシ

第二條 會議及 K 記

許議會ハ少クトモ毎月一回常會ヲ開ノヘシ

許議會八所長上協議ノ上常會ノ日時及と場所ヲ定ム更二必要又八適當ト 認山ル場合二八臨時會ラ掛フコトラ得

許議會八総テノ會議及と其行馬二關スル精雄ナル記録ヲ取ラシメ其記録

9一般所内居住民/教覧三供スへシ

第三條 役

評議會ハ評議員中ヨり議長ヲ選挙ス

格ラ以テ出席ス 議長ハ評議會ノ報テノ会議ラ主宰シス級テノ儀式儀禮二ハ評議會長ノ資

レサル特殊ノ管理又ハ行政上ノ權能又ハ權カヲ有セス議長ハ評議員トシテノ総テノ權限及と職責ヲ保有ス但本規程ニ列學セラ

計議會ハ又評議員中ヨリ副議長一名尹選學ス

副議長八議長二故障アル場合二其代理ラ動ム

所長八評議會ノ推薦二基七公務書記一名及と補佐書記一名ラ任命ス 公務書記及補佐書記八敦レモ選舉有資格者タルへシ

書記ノ權限及と職勢べ左ノ如シ

評議會ノ総テノ會議二關シテ通告ラ發ス

二、評議會ノ議事ラ記録ス

三、所長ノ發シタル布告及と規則ラ公布ス

四 総テノ規則決議及と建議ラ特定ノ帳簿二精確二記録シ署名ラ以テ之ヲ確

本規程又八評議會二依テ要求セラル、諸他ノ職努ラ行フ

主 美

直二其旨宣言シ宣言後二週間以内二其缺員ヲ補充スヘシ 續シテ常會二缺無シタル場合二八評議會八缺員ラ生シタルモノー見做シ 評議員力恆久的轉往ノ意志ョ以テ轉住所ラ去リタル場合又八三箇月間連

部議會調 _ 整委員會一部 整

ミジョナー)ラ以テ祖織ス 許該會調整委員會八各区ョリー名を選挙セラレタル区委員(ブロック・コ 定

正委員八各区ノ選舉有資格者二依テ投セラレタル投票ノ最多數ラ得タル

選撃セラレ就任スルマテ在任ス 厳若クハニナー歳以上ノ者タルへシ委員八其任期ラ六箇月トシ後任者力 調整委員會委員八正當三登録セラレタル選舉有資格者ニシテ年齡二十一

調整委員會/職務

委員八部議會、行為及行動ニ關シテ区住民二報告ラ行フへシ 調整委員會委員ノ職务八各区住民ノ一般福利及と安水二帰スルモノトス

調整委員會ハ評議會ラ輔佐シ其支配ラ受ク評議會ハ委員會ノ行馬及運管 二必要ナル諸規則ヲ制定公布ス

第三條 會議 言表與 第次

開會議ラ開クヘシ

第四條 役 員

又公教書記八調整業員一十二記引勢ノ該大事の一議事ラ精確二記録人 計蔵會議長ハ調整委員會ノ議長ラ勤メ該委員會ノハテノ會議ラ司會入

第五條 趺 員

議長力調整委員會二跃員ラ生シタル旨宣言シタル時八評議會八其宣言ノ アリタル日ヨリー週間以内二缺員ラ生シタル区二於テ臨時選挙ラ施行シ

後任者ヲ選舉シテ缺員ヲ補党スヘシ

第三章 會

茅一條

体 委 員

五名サ以テ組織ス 司法委員會八評議會二依テ任命セラレ且所長二依テ認可セラレタル委員

部議員八司法委員會委員尹無任スルコトラ得ス

委員會ハ委員中ヨリ議長ヲ選學ス又必要ト認ムル場合ニハ其他ノ役員テ司法委員會ハ少クトモ委員三名出席スルニ非レハ會議ヲ開クコトラ得ス 選拳スルコトラ得

矛二條

在任人 司法委員會委員八其任期于六箇月トシ後任者の任命セラレ就任スルマテ

三條被告人/權利

被告ハ委員會ノ審理ラ要求シ證人ラ提供シ自己ノ選擇セル辯護人ラ代理 所長二依テ司法委員會二委任セラレタル安寧秩序二開スル事件二於テハ 人トスル權利ラ有ス

第四條 書 記

具フ 公务書記八司法委員會ノ書記ラ勤メ委員會ノ総テノ記録二開入ル責任ラ

第五條 職 麥

審理シ所長二對シ其等事件ノ處理二關シテ建議ラ行フ 司法委員會ハス評議會二對シテミニドク轉住所ノ安寧秩序ラ維持スルニ 司法委員會八所長二依テ委任セラレタル安寧秩序二關スル総テノ事件ラ 必要適切ナル方策二開シテ適當十思惟スル建議ラ行フ

第四章推薦及七選學

選舉人,資格

ラレタルモノハ本規程二基キテ施行セラル、鮑テノ選挙二投票ノ資格ラミニドカ轉住所居住民中年齡十八歲又ハ十八歲以上二シテ適正二登録セ

有ス

第二條役員/資格

位二七就クコトラ得ス リーヴ・クリアランスヲ取得セサル者ハ選事又ハ任命ニ依ル如何ナル地

舒議員ハニナー成若クハニナー歳以上ノ者タラサルへカラス狙ニナー歳 他ノ任命二依ル地位又八職多二就クコトラ得 以下ノ有り雖本規定二基十又八所長二依テ設定セラレタル各種委員會及

一條選舉,秘密

本規程二基キテ施行セラル、總テノ選舉八無記名投票二依ル

選學人〉登録

止ス 登録ハー年ラ通シテ行と得ルモノトス组選基施行中ノ特定期間ハ之ラ停 總テノ所内居住選舉有資格者八登録セラルへキモノトス

男女ノ別ナク十八歳又ハ十八歳以上ノ者力登録ラ申請シタル時ハ公務書總テノ登録ハ本人自身署名シテ行ハサルへカラス 登録ノ効カニ關シテ異議アル時八正式文書ヲ以テ公勢書記二申出ツヘシ 記八申請者ノ當然ノ權利トシテ之ラ登録セシム

第五條

其場合裁決ノ任二當ルモノハ評議會トス

會

代表者二對シテ被推薦者二關スル特殊指示ラ與フルヤ否ヤハ各区居住民 代表者八区内選舉有資格者中ヨリ選舉セラルヘキモノトス各区八夫々二名ノ代表者ヲ推薦會議二出席セシムヘシ ノ仕意トス

越二サル評議員候補者ヲ推薦ス 推薦會議八評議會ノ要求一應シテ閉カレツクトモ十名多クモニナー名ラ

推薦八口頭ラ以テシー名ノ賛成者ラ要ス

各代表者ハー名以上ノ候補者ラ推薦スルコトラ得ス

公務書記八被推薦者二就十立候補ノ話否ラ確ムへシ

立アリタル時八評議會ハ之ラ裁決ス被推薦者ノ被選挙資格ニ關シテ異議ラ申立ツルコトラ得而シテ異議ノ申 内全選學有資格者ノ二分ノ請願二依テ之ラ推薦スルコトラ得 若シ多數ノ人々力適當ナル人物力推薦二渡レタリト思惟スル場合二八所

第六條 選舉

選舉人八登録ラ行とタル場所二於テ投票スへキモノトス不在又八代理投通常選擧八年二回即チ二月ノ第一月曜日及八月ノ第一月曜日二之子施行ス 票ヲ禁ス

候補者于當選者上宣言人 公務書記八所内選學有資格者二依テ投セラレタル投票ノ過半數ラ得タル

開き決選投票期日ラ決定スヘシ 務書記八其旨評議會二通告又其場合評議會八出來得ル限り速二臨時會ラ 第一回通常選舉二於于選舉セラレタル評議員力定員數二達セサル時八公

候補者上宣言人 中ヨリ得票ノ順位二依リ評議員不足數ノ二倍ノ候補者ヲ舉ケ決選投票ノ 決選投票二於テハ公務書記ハ第一回選舉二於丁當選者トナラサリシ者ノ

決選投票ハー回二限ル而シテ決選投票二於テハ最多數ノ投票ラ得タル者 ラ以テ當選者トス

五 章 發 案 及

凡テノ選學人八發素權ラ行使シテ評議會二建議ラ行フコトラ得

發来請願二八所內全選舉有資格者五分ノ署名了要ス

式

請願う提起スルモノハ自己力請願ノ提起者タルコト及と請願書ノ署名力

真正ナルモノタルコトテ證明セサルへカラス

條件ラ具備スルマ香ヤニツキ證明ラ行フ 請願書八公務書記二提出セラルへキモノース公務書記八其請願書力必要 請願書二八請願委員トシテノ責任者少クトモ五名ノ署名ヲ要ス

若シ公勢書記り請願書二不備、點アリト宣言シタル場合二八請願者八十 ラル、全選學有資格者五分ノ署名ヲ得テ之ヲ差出スへシ若と然ラサル時 日間ノ循環ラ典へラレ其期間内二請願書ノ不備ノ縣ヲ補正シ且必要トセ ハ其請願八安棄セラルへキモノトス

請 願 書 日

最初ノ署名カ行ハレタル日ラ以于請願書ノ日附トス而シテ其日ヨリ起算

(5)

第四條

シテ六十日間以内二必要數ノ署名ラ得サル時八請願書八無効トたモース

年代了提案スルコトラ得而シテ解任ノ可否ハ全選舉人ノ過半數投票二依解任了提案有資格者ノ一割ノ署名セル請願書ラ以テ評議員又八匹委員ノ所外全選舉有資格者ノ一割ノ署名セル請願書ラ以テ評議員又八匹委員ノ解任

許議會及と評議會調整委員會八共同決議ニョリ所長ノ許可ヲ經テ本組織 規程ラ脩正スルコトラ得 第六章